

# 地域で生活する認知症の人を支える 通所型サービスの手引き

平成 26 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業  
「地域で生活する認知症の人の生活を支える在宅サービスのあり方に関する調査研究」  
検討委員会、手引書作成委員会  
社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

# 目 次

本手引書について	2
<b>1. 地域包括ケアシステムの考えと通所型サービスの役割</b>	<b>3</b>
① 地域包括ケアシステムとは	3
② 新オレンジプランと通所型サービスに期待されていること	4
③ 通所型サービスの種類とその内容、強み	5
④ 通所型サービスの強みを活かした認知症の人への支援	5
1. 利用者と職員が共に過ごす時間の長さ	6
2. 定期的かつ継続的な介護者との関わり	6
<b>2. 通所型サービスの強みを活かし認知症の人の在宅生活を支援する</b>	<b>8</b>
① 聞き取り・観察調査について	8
② まずは地域を知る	9
1. 事業所のある地域の特徴	9
2. 事業所の利用者の特徴を知る	10
③ 認知症の利用者への支援で力を入れているポイント	12
1. アセスメントと計画に基づく日々の支援	13
2. 介護支援専門員を通じた他のサービスとの連携	31
3. 介護者支援	33
4. 職員配置と情報共有	37
<b>3. 認知症の人の在宅生活継続のために</b>	<b>39</b>



## 本手引書について

この手引書は、今後ますます増加する認知症の人の在宅生活を支えていくために、地域の貴重な社会資源である通所型サービスがどのような役割を担い、またどのように支援をしていくとよいか、認知症ケアに力を入れている通所介護や認知症の人へのサービスに特化した認知症対応型通所介護の取り組みを紹介しつつ、お示しするものです。

2015年1月現在、全国には約42,000件以上の通所介護と、約3,800件程度の認知症対応型通所介護があります。平成25年度に三菱UFJリサーチ&コンサルティングが実施した調査<sup>1</sup>によると、回答のあった1,821通所介護事業所のうち、利用者の36%が、認知症高齢者の日常生活自立度のⅡa以上でした<sup>2</sup>。また、認知症対応型通所介護はその名の通り、認知症の人を対象とした通所介護です。

認知症ケアの実践は日々進化しています。また、パーソンセンタードケア、ユマニチュード、回想法や短期集中リハビリなど、認知症ケアにおける理論や実践は様々ですが、ここで紹介しているのは、「通所介護・認知症対応型通所介護」における実践についてであり、認知症ケアの理論や行動、心理症状への個別の対応方法についての具体例は紹介しておりません。それらについては、ぜひ専門書を参考にしてください。

この手引書が皆様の日々の取組みの一助となれば幸いです。

---

1 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「通所介護のあり方に関する調査研究事業」平成25年度厚生労働省老人保健検討増進等事業、2014年3月

2 なお、「認知症なし」は25.7%、「I」は16.6%、「わからない」が21.7%という結果でした。